

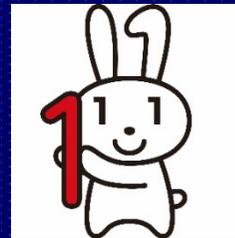
ASISTの研究活動の概要と シンポジウムのねらい

東京工業大学
科学技術創生研究院
社会情報流通基盤研究センター
未来産業技術研究所

大山永昭

JPKIの愛称決定

- 公的個人認証サービス
 - ⇒ JPKI (Japan Public Key Infrastructure)
- マイナンバーは、マイナちゃん ⇒ ウサギ
- JPKIは、マイキー(私の鍵)君 ⇒ 犬
- コピーができるマイナちゃん、コピーができないマイキーくん



社会情報流通基盤研究センター

- 平成28年4月1日に、従来の研究組織を科学技術創生研究院(3研究所、2センター、研究ユニット)に改組
- 社会情報流通基盤研究センターはその一つ
- 社会情報流通基盤研究センターの設置目的
 - ICT技術を活用して社会的な課題解決を図るソリューション研究の実施 ⇒ 政策提言を行う意味をこめてセンターの英文名は
ASIST (Advanced research center for Social Information Science and Technology)

主な研究活動(H27年度)

- 保健・医療分野の情報化関連
 - マイナンバーカードを用いた資格確認手法の実現に向けた提言
 - 医療等IDの導入に関する提案
 - 個人健康管理システムの実現手法の検討
- 情報システム調達改善関連
 - 政府情報ネットワークシステムのセキュリティ確保に関する提言
 - 特許庁、年金機構、厚労省等の行政機関の情報システム刷新を支援
- 流通基盤関連
 - 番号カードを用いた官民連携に関する実証試験
 - ⇒ 放送・通信分野におけるJPKI利用者認証を使った新たな基盤開発
(ケーブルTV、PIN無し認証、各種資格確認、決済等への応用)

シンポジウムのねらい

- サブタイトルにある“マイキーくんが支える便利な社会”へのアプローチと実証を紹介
- 総務省の実証を例として
 - ケーブルTVを用いた行政情報等へのアクセス
 - 属性情報(資格を含む)の認証局に関する検討
 - クレジット決済の実用化に関する検討
- マイナンバーカードの普及促進(H28,1から15か月で3000万枚分の予算化)

オンライン資格確認に関する考察

- 総務省の実証実験により、健康保険の資格確認に有効であることを確認
- その結果、JPKIとPIN無し認証をマイナンバーカードに実装
- 厚生労働省では、番号法で整備されるシステム等をベースとして、資格確認の実現に向けた検討が行われている
- 本格実施に向けて、以下の課題の解決策を検討中
 - ① PIN無しスキームのスピードアップ ⇒ 外部認証鍵の端末実装等
 - ② 簡易端末 ⇒ 診療所等には、モバイル端末が有効
 - ③ 実運用方式の検討 ← レセコン、HIS等との通信規約の策定

個人健康管理システム

- 目的
 - 個人別の健康情報を時系列で管理・活用
 - マクロ・ミクロでの情報分析(天気予報を参考)を実現
 - ⇒ 健康予測、新たな感染症等への対策
- 効果予測(多くの先進国が取り組むが未だ実証されていない)
 - 健康予測を可能とすることで、健康寿命を延長
 - 衛星によるマクロ、雨量計等によるミクロ、スパコンによるモデル解析
 - ⇒ 天気予報の精度が大幅に向上
 - 生活習慣病等の減少による医療費の削減
 - 新たな疾病等に対する対応の迅速化

個人健康管理システムの実現

- アプローチ
 - 健康・医療・介護情報を組織、疾病別管理に加えて個人別に時系列管理
 - 各人の情報の所在場所をデータベース化(分散管理)
- 現実的な手段
 - 健康保険の資格確認をトリガーとする(医療情報の保存義務あり) ⇒ クラウドの利用等
 - 希望者による参加 ⇒ 紐づけミスを無くすため、番号カード(JPKI)の利用を必須とする

資格確認をトリガーとして

- 個人健康管理や医療情報連携には、正確な紐付けが必須
 - ⇒ 不正確な紐付けには、年金記録で懲りている
 - ⇒ 正確な資格確認により生成される(保険診療)
 - ⇒ 責任の明確化 ⇒ だからエビデンス化
- 実現手段
 - 共通番号の導入 ⇒ 転記ミス無くすることは、極めて困難
 - 2次元バーコード ⇒ 転記ミスは大幅に削減できる
 - JPKIの利用 ⇒ 電子署名と同じ技術の利用
 - ⇒ 資格確認の手続きがエビデンスになる

終わりに

- ASISTは、基盤、電子行政、社会保障分野の課題解決に向けた研究・開発を、産官学の連携を通して実施
- JPKIの民間利用が、番号カードの利便性向上に資することを総務省の実証試験により確認
- 医療保険の資格確認の実現に向けた課題解決に注力
- 引き続き、電子私書箱等の実現方策を検討
- 生涯に渡る個人健康管理システムの実現に向けた取り組みを加速